

市民フォト

ふくしま夢つうしん

2021 JUNE Fukushima YUME-tsushin

福島市
45
号
2021年 6月

CONTENTS

特集

いよいよ今夏!

東京2020オリンピック開催会場“福島市”…2

ふくしまの魅力人

ハンドボール男子日本代表候補選手 笠原謙哉さん…4

ボッチャ日本代表ヘッドコーチ 村上光輝さん…6

インフォメーション

福島市ゆかりの会…8



東京2020 オリンピック 開催会場「福島市」



福島あづま球場

野球競技

7月28日(水)
正午～午後3時
※1試合。

ソフトボール競技

7月21日(水)
午前9時～午後5時

日本	対	オーストラリア
イタリア	対	アメリカ
メキシコ	対	カナダ

7月22日(木)
午前9時～午後5時

アメリカ	対	カナダ
メキシコ	対	日本
イタリア	対	オーストラリア

試合日程

東京2020オリンピック競技大会が、いよいよ2021年7月23日に開幕します！福島あづま球場では、全55競技のトップを切って、7月21日からソフトボール日本戦が行われます。野球・ソフトボール競技の開催地である福島市では、「復興五輪」の理念に基づき、東日本大震災の際の復興支援への感謝を世界中に発信するとともに、観戦に本市を訪れる皆さまに心を込めたおもてなしをと、さまざまな取り組みを進めています。早速、ご紹介いたします。

聖火リレー

東京2020オリンピック聖火リレーは、2021年3月25日にナショナルトレーニングセンターJヴィレッジ（本県檜葉町・広野町）をグランドスタートし、復興の歩みを進める被災地をはじめとする全国各地を巡り、日本全国の人々に希望と勇気を与えています。

3月26日には、聖火リレーが福島市を通過し、29人のランナーが信夫ヶ丘競技場から福島県庁西庁舎前県民広場までの約5・1kmの道のりを繋ぎました。



最後は、グルーブランナーの世界記録達成挑戦者の皆さんが福島県庁西庁舎前県民広場にゴール。



福島市役所では花見山を模した花の装飾を施し、聖火リレーを盛り上げました。



福島市出身の古関裕さんをモデルとする作品にご出演したことをきっかけに、福島市内を走る聖火ランナーに選ばれた菊池桃子さん。第一走者として、市内小中学校から選ばれた20人のサポートランナーと共に信夫ヶ丘競技場をスタートしました。

古関メロディーでエールをおくる



福島商工会議所青年部
わたなべ ひろみち にし かつ よし かつ
渡邊 啓道さん 西形 吉和さん

7年前、私たちが描いたストーリーは壮大でした。まず、福島市出身の作曲家・古関裕而さんがモデルの連続テレビ小説を実現させ、1964年東京オリンピックのシーンを東京2020オリンピック開会式当日に放映。そして開会式会場で古関さん作曲の「オリンピックマーチ」を福島の楽団が演奏することです。一つ叶いませしたので、次は開会式での「ふくしま古関楽団2020」の演奏を目標に活動しています。「ふくしま

古関楽団2020」は高校の吹奏楽部やダンスグループ、ソプラノ歌手の方にもご登録いただき、2018年から活動してきました。「オリンピックマーチ」のほかに「古関さん編曲の「オリンピック賛歌」の歌唱や古関さん作曲の「今日はいよいよ」の仏語訳を歌って次のパリ大会にエールをおくる計画も考えています。

私たちが実現に向けて活動することで、福島市は元気だと世界中に発信できるとともに、市民の心の復興にもつながると考えています。

元気に咲くヒマワリでおもてなし



あづまの里「荒井」づくり地域協議会会長
あ べ やす あ き
阿部 保昭さん

私たちは、土湯温泉や磐梯朝日国立公園に隣接する福島市荒井地区を元気にしようと、さまざまな取り組みを続けている団体です。東京2020オリンピック・パラリンピックにおいても何かお手伝いをお願い、市が創設した「2020ふくしま市民応援団」に登録しました。「花のお出迎え」と題して今夏、「四季の里」の入口、国道115号から福島あづま球場に向かう市道

から見える畑（5・5ha、東京ドームより少し大きい面積）にヒマワリを咲かせ地元開催を歓迎する予定です。一昨年、試験的に種を30キロ蒔いたところ、見事な花が咲き、たくさんの人を笑顔にすることができました。今年も着々と準備を進めております。夏空に映えるヒマワリと元気な福島が、世界の人々の心に届くことを願っていますので、ご期待ください。

市民と一緒にアートで伝える！

福島市おもてなしフェンス

東京2020大会でお迎える多くの来福者へ、東日本大震災の際にいただいたご支援に対する感謝や心からの歓迎の気持ち、福島のすばらしさを感じていただきたいという願いを込めた福島市おもてなしフェンスプロジェクト！

7月19～29日、福島駅西口付近に大会組織委員会が設置するフェンスを活用。フェンスには、福島市の子どもたちが自由に描いた花や動物を、代表アーティストのあきばたまみさん（絵本作家・画家）が監修し完成させた「生命の樹」（右）をはじめ、福島ゆかりのアーティストや福島市民からの応募作品など約350点の作品を掲載！



福島駅東口周辺でおもてなしイベント開催！

大会期間中、大型ビジョンでの競技中継を中心としたさまざまなプログラムが楽しめる「コミュニティライブサイト」など大会の感動や興奮を共有できるようなイベントの開催を予定しています。

イベントの詳細や大会への取り組みなどは福島市ホームページをご覧ください。



魅

力人

みりよくびと

中学校でハンドボールに出会い開眼。高みを目指し努力し続けるも2017年の世界選手権では、日本代表から外れる悔しさを味わった笠原謙哉さん。「またプレーが見たい」というファンの声援を力にトレーニング内容を一新。リカバリーや食事にも気をつかうなど、自己改革を続け再び日本代表に復帰。東京2020オリンピックでも大いに活躍が期待される笠原さん。ハンドボールを続ける中でのエピソード、魅力、意気込みなどを伺いました。

写真提供：JHA、Yukihiro Taguchi

Kasahara Kenya



ハンドボール世界選手権でシュートを放つ笠原選手



東京2020オリンピック
ハンドボール男子日本代表候補選手

かさ ほん けん や
笠原 謙哉 さん

1988年福島市生まれ。福島市立信夫中学校、聖光学院高等学校、東海大学を卒業。2011年からトヨタ車体BRAVE KINGSに所属。2010年7月ヒロシマ国際大会で日本代表に初選出。2017年よりタグル・シングルソン監督の下、ポジションをバックプレーヤーからポストプレーヤー（PV）に変更。ベストを尽くすべく地道にトレーニングを積み急成長。2019年、2021年と連続で世界選手権に出場。国際試合出場数77、通算46得点。

走る、投げる、跳ぶ、 心と体を鍛え抜き 一丸となって世界に挑む



ハンドボール男子日本代表「彗星JAPAN」

ディフェンスで評価され ポストプレーヤーに

約20年にわたる笠原さんのハンドボール人生を振り返ると、合宿には参加していたものの日本代表から外れてしまうなど辛い時期もあったそうです。「実は、2017年の世界選手権に行けなかった時、今思えば実力不足だったと分かるんですが、当時は悔しくて。先が見えないまま全国の小学校から大学まで約80カ所を教える講習会に参加しました。その時、『また頑張らしてほしい』という声をたくさんいただいて、続ける決心ができました。以後、トレーニングもこのままではいけないと一新。努力が認められ日本代表に復帰する

も、今度はシュートを打つエースポジションのバックプレーヤーから真逆のポストプレーヤーに変更に。その時は、すぐに気持ちを切り替えたと言います。「ディフェンスで評価されたので、チームを支えるという自分の役目に集中して、相手に点を与えないようにより強く、より強く、より長く、より速くを自分に課してトレーニングを続けました」。その結果、2019年と2021年の世界選手権にスターティングメンバーとして連続出場という快挙を成し遂げたのです。「最近、周りから『上手くなってるね』と言われる。10年、続けてきた成果が現れ始めた感じです。長かったですけど続けてきてよかったです」。



高い評価を受ける笠原選手のディフェンス

運動が得意な方では なかった少年時代

身長196cm、体重105kgの恵まれた体格。試合では、ポストプレーヤーというポジションで、体を張って相手のディフェンスの中に潜り込みプレーする笠原謙哉さん。さぞかし小さい頃からスポーツ万能だったのではと尋ねると、「小学校までは、あまり得意な方ではありませんでした」と意外な答え。「中学校で入部したハンドボールの部活動が厳しくて、走り込みなどいろいろなトレーニングを続けるうちに、足が速くなり、ボールも遠くに投げられるようになりました。成功体験が増えるほどハンドボールが楽しくなり、現在に至っているのだとか。



海外の選手にも当たり負けしない笠原選手

激しいボディコンタクト スピーディな展開は鳥肌もの

「10年前、福島でお世話になった皆さんに『トレーニングを積んで国際試合に出られるような良い選手になります』と約束していました。今福島で頑張っている子どもたちに、こういう選手もいるんだってことを見てもらおうと、子どもたちの可能性をぐんと広げる一助になればとも思っています」。

走る・投げる・跳ぶの3要素が詰まったハンドボールは、球技と格闘技が融合したような激しいボディコンタクトも魅力の一つです。バックプレーヤーが空中でボールを受け取り、そのままシュートやパスをするスピーディな展開は、まさに鳥肌もの。体を張って相手チームをブロックし続けるのが笠原さんのポジションです。今夏の東京オリンピックでは、開催国枠で出場が決まっています。一丸となって世界に挑む男子日本代表を力の限り応援しましょう。

魅

力人

みりよくびと

昨秋、福島市が開催した「ふくしまパラスポーツチャレンジ! 2020」で多くの市民が楽しんだパラスポーツ「ボッチャ」。村上光輝さんは、日本代表ヘッドコーチとして、リオデジャネイロパラリンピックで、日本初の銀メダル獲得に貢献されました。その後も国際試合で活躍する選手の強化、育成に多忙な日々を過ごしておられます。小学校から大学までサッカーに夢中だったという村上さんに、ボッチャとの出会い、魅力、課題、展望などを伺いました。



プレー中の選手

第27回 インタビュー

特別支援学校にも部活やスポーツ大会をと奮闘

村上光輝さんとボッチャとの出会いは、大学4年生までさかのぼります。日本に入って来たばかりのボッチャの普及活動に、ボランティアとして関わったのがきっかけでした。卒業後、村上さんは地元福島に戻り、特別支援学校の高等部で体育を教え始めます。その時に感じたのが、重い障がいがある生徒たちの体育の授業の在り方でした。「周囲が気の配り、工夫し過ぎるあまり一般的でないというか、体育の授業だけで完結してしまうスポーツになってしまっていたんです」。

中学校も高校もサッカー部に所属し、全中（全国中学校体育大会）やインターハイ（全国高等学校総合体育大会）を目指し練習に励んだ村上さんは、特別支援学校にもそのような仕組みが必要と思ったのだそうです。

最高の舞台で最高の試合をする選手に最高のエールを!!

2度パラリンピックに出場して特に印象に残っているのが、ロンドンの国を挙げた桁外れの歓迎だそうです。「圧倒されました。リオデジャネイロは、ブラジルの陽気さで選手たちを高揚させてくれました。8月に開催される東京2020パラリンピックも、そうした雰囲気作れると思っています。そうした盛り上がり、ボッチャのファン層と競技人口の拡大につながって行くはず」と話す村上さん。間もなく本番です。最高の舞台で最高の試合をする選手と村上さんに惜しめない声援を贈りながら、ボッチャの頭脳戦に酔いさせてはいかがでしょう。



BISFed 2018 世界ボッチャ選手権大会で銀メダルを獲得した日本代表チーム

ボッチャ日本代表ヘッドコーチ

村上 光輝 さん

1974年福島市生まれ。福島東高校、順天堂大学卒業。高校時代、サッカーでインターハイに出場。大学時代もサッカー部に所属したスポーツマン。2000年から教員として福島県立西郷養護学校高等部に勤務（～2016年）。2009年からボッチャ日本代表にかかわる。その後、コーチに就任。2012年のロンドンパラリンピックでは7位に、2016年のリオデジャネイロパラリンピックでは、日本初のメダルとして銀メダル（チーム戦）に導く。一般社団法人日本ボッチャ協会強化指導部長。



ボッチャの楽しさを たくさんの人と 分かち合いたい!

す。周囲の方々に相談したことを機に、福島県特別支援学校体育連盟が設立され、バスケットボール、車いすバスケットボール、フライングディスクなどのスポーツ大会が開催されるようになりました。しかし、「それでも出場できる選手が限られてしまう」と村上さん。そんな時に、頭をよぎったのが誰でも楽しめる万国共通のボッチャでした。「学校教育に取り入れたら全国大会、世界大会も目指せます」と伝えたので、やがて学校にボッチャの部活動が、地域にはクラブができ、生徒たちが卒業後もスポーツを続けられる環境が整っていきました。

将棋のように先を読む 知略こそボッチャの醍醐味

「駆け引きが面白い頭脳戦」とボッチャの魅力を話す村上さん。一見カーリングに似ていますが、ボッチャはカーリングの的にあたるジャックボールの位置を、遠くにするか、近くにするか選手が決めます。長距離の投球が苦手な相手ならあえて遠くに投げたり、近距離が得意な自分のために近くに投げたりなど、将棋のような知略がボッチャの醍醐味なんだそうです。

コーチとして心掛けていることは、主体性とのこと。「監督に言わ



選手に指導する村上ヘッドコーチ



花見山



福島わらじまつり



古閑裕而記念館



fukushimashi
yukari-no-kai

東日本大震災から10年が経過し、令和2年度は福島市名誉市民第一号である古閑裕而さんがモデルの『連続テレビ小説「エール」』が放映されるなど、本市への注目度がますます高まっています。注目を集めている今、首都圏在住の本市出身者や本市にゆかりのある皆さまにより、親睦交流とネットワークを広げ、深める場が設立されました。

本市は、本会と連携し、本市とゆかりのある首都圏在住者との絆を深め、関係人口の拡大を図ってまいります。



JR福島駅西口



あづま総合運動公園のイチョウ並木



メロディーバス

福島市と接点がある方、会員になりませんか？

入会費・年会費 **無料**

福島市の旬の情報、交流会・イベントなどの情報をお送りします。

【対象者】首都圏在住の18歳以上で「福島市出身」「福島市に住んだことがある」「福島市内の学校に通っていた」「福島市内で働いたことがある」など、福島市にゆかりのある方

【入会方法】福島市オンライン申請、または、電話でお申し込みください。

【申・問】福島市政策調整部政策調整課シティセールス推進室（福島市ゆかりの会 事務局）
☎024-525-3788 FAX024-536-9828



▲福島市オンライン申請はこちら

宝くじ公式サイトでも宝くじを購入できます!!

特典1 たまる!つかえる!宝くじポイント

宝くじの購入で100円につき1ポイントの宝くじポイントが獲得できる!
宝くじ公式サイトや宝くじ売り場で1ポイント1円としてつかえる!

特典2 購入～受取までネットで完結!

24時間いつでも宝くじの購入可能!
抽せん結果も宝くじ公式サイトで確認!
当せん金は、登録した受取口座に自動でお振り込みするので、とっても便利!

特典3 宝くじ会員限定のキャンペーンに参加できる!

他にもお得な特典や便利なサービスいろいろ!
今すぐ会員登録!!



本件に関するお問い合わせ先 宝くじコールセンター TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料) TEL 011-330-0777 (有料)
受付時間 10:30～18:30 (土・日・祝日、年末年始を除く) ※電話番号を十分ご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

市民フォト・ふくしま夢通信



2021年6月15日発行

2021年6月号 No.45



編集発行 福島市役所 広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎024-525-3710 FAX024-536-9828
E-mail:kouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp

夢通信
バックナンバーは
市ホームページ!



📷 表紙紹介

「花のお出迎え」活動

昨年、あづまの里「荒井」づくり地域協議会の皆さんが、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて国道115号から福島あづま球場に向かう市道沿いに植栽したヒマワリ。今年も本市を訪れる皆さまをおもてなしするための準備を進めています。